

# 地球

昭和二年

七月  
十二月

第八卷

# 地球 第八卷 總目錄 昭和二年 七月—十二月

## 圖版

第一版 丹後峰山地震	.....	小川 琢治	(第一號)
第二版 樽前火山の新龜裂	.....	小川 琢治	(第二號)
第三版 信濃國上水内郡第三紀層産化石貝類	.....	小川 琢治	(第三號)
第四版 根尾谷斷層	.....	小川 琢治	(第四號)
第五版 關東地方に於ける重力偏差の分布	.....	小川 琢治	(第五號)
第六版 紀伊國瀨峽と武藏國長瀨	.....	小川 琢治	(第六號)
造陸造山兩作用の性質	.....	小川 琢治	一
黒鑛母液果して酸性なりや	.....	木下 龜城	二五
温泉の試掘に就て	.....	石川 成章	三
京都大阪奈良神戸四近地質圖說明文	.....	中村新太郎	三〇
大和曾爾地方の考察	.....	三村 信男	四〇
岩漿内の均一平衡と火成岩成生に對する關係	(二)(三)(四).....	三村 信男	四三
北權太採集記(完).....(下の四)	.....	玉貫 光一	五〇
造山作用の地震地質學的解釋(上)	.....	小川 琢治	五五
造山作用の地震地質學的解釋(下)	.....	小川 琢治	六〇

關東地方の重力偏差(一)(二).....熊谷 直一.....三九

常磐地方白土層の地質時代に就きて.....早川 千尋.....一〇六

近江國野洲川下流の地形に就きて.....宮井嘉一郎.....二二

信濃中央高臺の地質及び地形學的意義.....本間不二男.....三三

樽前山ドームの新龜裂と火口に就きて.....柴原 小市.....三四

北米合衆國に於ける地理學界(一)(二)(三)(四).....寺田 貞次.....三五

綠色角閃石より褐色角閃石への變化に關する研究豫報.....神津 淑祐.....三五

信濃國上水内郡第三紀化石略報.....吉木 文平.....三五

出雲鶴峠鑛山産透明石膏の主屈折率の測定.....榎山 次郎.....三八

火山活動豫報の可能性.....山口 鎌次.....三九

地理的景觀の個性と通性.....大橋 良一.....四一

九州刀工分布の歴史地理的意義(上)(下).....西龜 正夫.....四二

根尾斷層に就きて.....小川 琢治.....四三

宍道湖の鹹度問題(一)(二)(三).....中村新太郎.....四四

バル氏造山問題概観.....小牧 實繁.....四五

西遊夢錄(蘇國)(一)(二)(三).....山根 新次.....四六

瀧川 規一.....四七

朝鮮地質構造論序説

中村新太郎 三七

阿武隈山地地形素描

北陵 學人 三〇四

北歐特に瑞典の鐵鑛と其分布

上治寅次郎 三〇四

直線狀構造線及び地内力効果の綜攬

小川 琢治 三〇七

擴散による分離沈澱と混合沈澱

渡邊萬次郎 三〇七

秋田縣長走風穴に就きて

荒谷武三郎 三〇六

極東に於ける鑛物資源と將來の開發

石川 成章 三〇三

講話

石油地質學概要

大村 一藏 三〇三

摘録

山崎、多田、琵琶湖北部地帯の地形學的斷層構造……………三七

陸地測量部、關東震災地一帯に於ける土地の隆起及沈下……………三六

加藤、阿波國淺川鑛山の特異鑛床……………三六

筒井、伊吹山頂にて觀測したセント、エルモス火に就きて……………三五

大谷、造山論の史的瞥見……………一五〇

多田、津屋、十勝岳火山を構成する熔岩……………三三四

小釜井、アイノ民族と其起原並に他民族との關係……………三三五

小野、原子の變動と地球を構成する物質につきて……………三三六

小島、都市交通機關の選定……………三三五

隨軍航空部、空中戰に對しての都市施設……………三三五

清水、郷土史話の一部……………三六二

長谷部、歐羅巴人……………三六三

石原、本邦に於ける地質學軌進の進歩……………四〇六

今村、八潮大原の朝鮮色……………四〇六

新著紹介

朝鮮の物産	七
日本築港史	七
船舶史考	七
朝鮮經濟地圖	一五
秋田縣の自然地理	一五
氣象學一斑	一五
人文地理第一卷第二號	一五
地質學便覽	一五
Daly: Our Mobile Earth, 1926	一五
H. Rosenbusch: Mikroskopische Physiographie der Mineralien und Gesteine. Bd I, 2te Hefte (von O. niggé.) Lfg. 3, 1927.	一五
地理學通論	一五
大日本方言地圖國語の方言區劃	一五
水	一六
日本國勢圖會	一六
地理教材研究第十輯	一六
聚落と地理	一六
G. W. Tyrrell: Principles of Petrology, 1923	一六
S. J. Shand: Eruptive Rocks, 1927	一六
播磨風土記物語	一六
庇毎の語	一六

雜報

土木建築工事砂利	一六
地質調査所發行、七萬五千分ノ一地質圖	一六
新に生れた米子市	一六
安房線勝浦上總興津間開通	一六
本邦陶器界の現状	一六
丹後胡麻の今昔	一六
米國乾鰯の支那へ新入荷	一六
アラツルの養蠶業	一六
比企忠氏逝去	一六
リンデバーク大佐の大西洋横斷飛行	一六
安徽省北部事情	一六
メキシコの農業地と日本人	一六
ドンニツク草	一六
支那の落花生	一六
蒙古セレンガ河の航通	一六
筒蓆事情	一六
カレー粉と胡椒	一六
ガツアオの養蠶	一六
波斯の鐵道	一六
南阿鐵業	一六
カリフォルニア州産の水銀	一六
大正十四年國勢調査日本内地人口(七)	一六

地球學岡岡山支部近況	三二五
昭和二年文檢礦物豫備試驗問題	三二八
奄美大島の貝類	三〇九
西山油田千間掘出油	三二一
北樺太の石油	三二一
三州の玉糸	三三三
歐亞聯絡	三三三
呼海鐵道の延長	三三三
英國の大航空船	三三三
波斯 Dushab 經由による印度波斯貿易	三三三
ウラル州の鑛業	三三三
八丈島と青島	三六六
燕の去來	三六七
ラツク樹脂	三六七
カボツク棉の栽培	三六七
支那地租制度沿革	三六八
オーマン國事情	三六九
エーメン事情	三六九
キエフ事情	三六九
コスタリカ國の發展	三六九
昭和二年七月文檢礦物本試驗問題	三七一
溫泉中の動物	三四四
布土の祭山	四六〇
小笠原の地質其他	四六〇

質疑應答

石油の原因に關する一考察	四六一
南アフリカ産新礦物	四六二
硫黃塵の効用	四六二
印度の鐵鋼業	四六二
北部暹羅の事情	四六二
キエラサオ島	四六三
ホリビアの銀と錫	四六三
イキトスの交通	四六四
文檢地理豫備試驗問題	四六四
クラーターゲン	八一
イベリヤ半島の氣候	八一
スライヤ海淵	八三
西山油田噴油の理由	一六三
Reyerの滑動説	一六三
Abendanonの大褶曲説	一六三
尋小地理卷二の一一三八の繪のサホアンと駝鳥の飼料	一六四
本邦海外移民の數	一六四
加州の氣候	一六四
滿洲の柳條邊牆	一六四
生動斷層	一六四
音響測深	一六五
Thar 沙漠の成因	一六五

地球 第八卷 總目錄

Hogbag ..... 三九二

螺旋狀星雲説と微惑星説 ..... 三九三

世界の海運 ..... 三九五

妙高、焼、黒嶺、飯綱、の所屬火山帯 ..... 四〇四

ラトビア人の所屬人種 ..... 四〇五

蝶番斷層 ..... 四〇六

朝鮮滿洲及日本列島の離島の中等水位 ..... 四〇六

地球學團新入團員

自昭和二年二月六日―至三月二日 ..... 第二號目次ノ裏

自昭和二年三月十五日―至四月二十日 ..... 第三號目次ノ裏

自昭和二年四月廿一日―至六月廿八日 ..... 第四號目次ノ裏

地球學團々員名簿 (昭和二年十一月一日現在) .....

四六六ノ次頁ヨリ

# 地球

第八卷 第一號

昭和二年七月一日發行

主要目次

圖版 第一版

造陸造山兩  
黑鑛母液  
溫泉の  
京都大  
大和鐵  
岩漿史  
北樺太  
石油地質

新地質學  
疑應  
地球第七卷總目錄



一丸成龜琢  
藏一リ男郎章城治

京 都 帝 國 大 學 內  
地 球 學 團



地球第八卷第二號（昭和二年八月）

豫告

圖版第二 關東重力偏差圖

地震地質學の研究方法……………理學博士 小川 琢治

常磐地方白土層の地質時代に就て……………理學士 早川 千尋

關東平野に於ける重力偏差(一)……………理學士 熊谷 直一

信濃中央高臺の地質及び地形學的意義……………理學士 本間 不二男

近江國野州川下流の地形に就て……………宮井 嘉一郎

岩漿内の均一平衡と火成岩成生作用に對する關係(三)(パウ、ニグリ)……………文學士 寺田 貞次

北米合衆國に於ける地理學界(一)……………文學士 寺田 貞次

講話

石油地質學概要(十二)……………理學士 大村 一藏

摘錄

新著紹介

雜報

質疑應答

# 地球第八卷第一號

(昭和二年七月一日)

## 目次

### 圖版 第一版丹後嶺山地震

造陸造山兩作用の性質

黒鑛母液果して酸性なりや

温泉の試掘に就て

京都大阪奈良神戸四近地質圖說明文

大和曾爾地方の考察

岩漿内の均一平衡と火成岩成生に對する關係(一) (二) (バウル・ニグリ)

北權太採集記(完)

石油地質學概要(十一)

理學博士 小川 琢治 一

理學士 木下 龜城 二

理學士 石川 成章 三

理學士 中村新太郎 四

三村 信男 五

玉貫 光一 五

理學士 大村 一藏 三

## 摘 錄

○山崎直方及多田文男―琵琶湖北部地帯の地形學的斷層構造

○陸地測量部―關東震災地一帯に於ける土地の隆起及沈下状態

○加藤武夫―阿波國淺川鑛山の特異鑛床

○朝鮮の物産○日本築港史○船舶史考

## 新 著 紹 介

## 雜 報

○新に生れた米子市 ○安房線勝浦上總興津間開通 ○本邦陶器界の現状 ○丹波胡麻の今昔 ○米國乾鷄の支那新入荷 ○ブラジルの養蠶業

## 質 疑 應 答

○グラトーゲン ○イベリア半島の氣候 ○スライヤ海淵 (正誤)

## 地球第七卷總目錄

地球前々號 (第七卷五號) 要目

圖版第五版 丹後峰山地震

全 第六版 近畿地質圖

地震損害輕減の可能性に就いて(二)

大陸及大洋地域の弧狀輪廓の意義

大連灣海水の觀察

明治七年の三宅島火山活動の様式に就て

堺市附近海岸の貝類

亞米利加博物館遠征隊のゴビ沙漠に於ける探檢の方法と結果(オスボン)

北樺太採集記(下の二)

石油地質學概要(九)

摘錄

新著紹介

雜報

質答應答

地球前號 (第七卷六號) 要目

圖版第七版 丹後峰山地震

丹後峰山地震の現象とその解釋

丹後峰山地震に現はれたる起震線と地弱線

三宅島産灰長石の諸性質

新義州南東に出た魚化石リコプテラの一新種

關東地方の重力偏差

デー氏火山活動の原因

岩漿内の均一平衡と火成岩成生作用に對する關係(パウエル・ニグリ)

北樺太採集記(下の三)

石油地質學概要(十)

摘錄

新著紹介

雜報

質答應答

# 地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川道分町京都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。  
 雜誌並に圖書の刊行  
 講演並に講習會の開催  
 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球學團費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球學團費半年分以上を、發行所へ送金する事。同時に、同第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

## 註文規定

- ① 購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい。
- ② 本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候。
- ③ 郵券代用にての御註文は一割増に願上候。
- ④ 振替貯金にての御送金は(振替大阪七姿參參番、東京五貳六)七番(博多成象堂)に願上候。
- ⑤ 前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下さい度候。
- ⑥ 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候。

一册(前金)	定價金五十錢	郵税金壹錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五十圓

昭和二年六月廿五日印刷納本(第八卷) 定價金五拾錢  
 昭和二年七月一日發行(第一號)

製複許不  
 載轉禁

## 發行所

編輯者 京都帝國大學 地球學團  
 右代表者 藤田元春  
 發行所 大坂市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地 博多久吉  
 印刷者 大坂市西區阿波羅中道二丁目四番地 井下精一郎  
 印刷所 大坂市西區阿波羅中道二丁目四番地 井下書籍印刷所

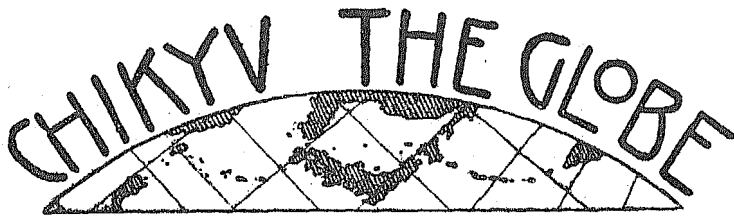
## 發賣所

博多成象堂  
 振替(東京五貳六〇七番 大阪七姿參參番)  
 東京市神田區錦町三丁目拾貳番地  
 大坂市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

## 賣捌所

(東京) 東京堂 東海堂 大東館  
 (大阪) 北隆館 盛文館 參文社  
 (神戸) 寶文館 川瀬日進堂  
 (京都) 共盛社 大盛社  
 (名古屋) マガジン 川瀬書店 星野書店

# CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. VIII. No. 1.

July. 1927.

Plate 1. A sight of the Tango Earthquake, March 7.1927.

Nature of Epirogenic and Orogenic movements.  
 By T. Ogawa, *R. H.* ..... 1

Is the Mother Fluid of the "Kuromous," black one mass  
 acid? By K. Kinoshita, *R. S.* .....15

On the Prospecting of Hot-Springs.  
 By N. Ishikawa, *R. S.* .....26

Explanation-Text to the Geological Map of Central  
 Kinki, 1: 250.000  
 By S. Nakamura, *R. S.*.....37

Geographical consideration of Sone, Yamato Province.  
 By N. Mimura,.....44

Homogeneous Equilibria in Magmatic Melts and their bearing  
 on the Process of Igneous Rock-Formation. (Paul Niggli)  
 .....52

Trips to Sachalien. (6) (*Concluded*)  
 By K. Tamanuki, .....55

Lecture on Oil-Geology (11)  
 By I. Omura, *R.S.* .....63

Abstracts New Books—Geographical Notes - Inquiries.

**Chikyū Gakudan**

Kyōto Imperial University